

■橋梁点検結果一覧表(大宜味村一部公表)

NO	橋梁名・街道名	路線名	所在地	構造形式	架設年次 (西暦)	供用 年数	橋長[m] (中央 距離)	経路数	幅員		点検口	点検方法 ※1	判定区分 ※2	対策区分の詳細			本事業の点検結果所見	備考	
									全幅員 (m)	有効幅員 (m)				橋梁定期点検要領					
														対策区分※3	整備程度	対象部材			現状の種類
1	フガミ橋	#	#	鋼桁橋	1992年	24	24.8	1	8.7	7.5	11.2	③,⑤	III	C2	e	支 下 部 構 造 (A1, A 2)	破 断 ひ び わ れ	側方移動により桁がバラバット(胸壁)に接触、支承サイドブロックも破断している。 機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講じる必要がある。	
2	アザカ橋	平南線	大宜味村字津波	RCT桁橋	1981年	35	15.0	1	8.2	7.0	10.3	⑤,③	III	C2	e	主 桁	ひ び わ れ 浮 き	主桁(RCT桁)において前回の点検よりかなり損傷が進行(加速度的)にしており、広範囲にひび、浮きがみられる。 早期に措置を講じる必要がある。	
3	川茶橋	野国幹線	#	RC床版橋	1981年12月	34	18.0	1	5.6	4.0	2016.9.29	⑤	III	C2	e	主 桁	鉄 筋 露 出、う き	主桁の広範囲にうき、ひびわれ、剥離・鉄筋の露出が見られる。原因は海砂の使用や鉄筋かぶり(10mm程度を小さいため外來塩分の浸透などが考えられる。橋体は、鉄筋の腐断は見られないためすぐに落橋にいたるとは考えにくい。しかしながら、前回調査時より損傷が進行していることから、広範囲に及ぶコンクリート片の剥離による第三者被害のおそれがあり、速やかな対策が必要である。	
4	浴川橋	浴川線	大宜味村字書如島	RCT桁橋	1982年	33	15.4	1	6.0	5.0	2016.10.7	⑤	III	C2	e	床 版	剥 離・鉄 筋 露 出、う き	主桁ウェブにひびわれが多くみられる。湧出し床版ではうき、鉄筋露出が生じ、その劣化状態は劣化段階である。連続床版部では上面にひびわれが生じ下面まで貫通している可能性もある。(遊積石灰は見られない。)床版下面にうきが多いことから、今後、剥離・鉄筋露出が広い範囲に生じると考えられる。詳細調査を行い、補修もしくは全面架替えの判断を行う必要がある。	
5	安根橋	安根線	大宜味村字預路鉾	RC床版橋	不明	-	9.5	1	5.0	4.0	2016.9.21	②	II	C1	d	床 版、下 部 構 造 (A2)	ひ び わ れ、う き、洗 塵 等	特に、海側湧出し床版の下方にひびわれ、うきが集中している。また、A2橋台は前回点検時でも指摘されているように、河川の凸側にあたり、流速が大きくなる洗掘が予想される。橋台の前方移動、傾斜、回転など不安定化による橋梁構造上の安全性への懸念がある。	

※1【凡例①】:点検方法

①	付帯なし
②	順長着用
③	脚立使用
④	手漕ぎボート
⑤	橋梁点検車
⑥	ロープアクセス

※2【凡例②】:健全度の診断(判定区分)

凡例	判定区分	定義
I	健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態
II	予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

(道路橋定期点検要領(平成26年6月))

※3【凡例③】:対策区分の判定区分

判定区分	判定内容
A	損傷が認められないか、損傷が軽微で補修を行う必要がない。
B	状況に応じて補修を行う必要がある。
C1	予防保全の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
C2	橋梁構造の安全性の観点から、速やかに補修等を行う必要がある。
E1	橋梁構造の安全性の観点から、緊急対応の必要がある。
E2	その他、緊急対応の必要がある。
M	維持工事で対応する必要がある。
S1	詳細調査の必要がある。
S2	追跡調査の必要がある。

(橋梁定期点検要領(平成26年6月))

別紙3 点検表記録様式  
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	26° 39' 37" 128° 08' 25"
フガミ橋 (フリガナ)フガミハン	大工又線	大宜味村字田港			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路 占用物件(名称)
大宜味村役場建設環境課	2016.11.15	河川	有	一般道	その他 水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(株)大東エンジニアリング	点検責任者	宮城輝夫
点検時に記録			措置後に記録				
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	I					
	横桁	I					
	床版	I					
下部構造	III	ひびわれ、沈下・移動	写真1、橋台02				
支承部	III	遊間の異常、破断	写真2、支承04				
その他	III	路面の凹凸	写真3、舗装01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)			
点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	橋台に側方移動・沈下・移動・ひびわれ、支承破断、遊間異常、主桁と胸壁の衝突あり、補修が必要。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)




架設年次	橋長	幅員	
1992年	25m	8.70m	
終点(左岸A2)		起点(右岸A1)	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分：Ⅲ】</p> <p>写真1</p>  <p style="text-align: right;">橋台02</p>	<p style="text-align: center;">支承部【判定区分：Ⅲ】</p> <p>写真2</p>  <p style="text-align: right;">支承04</p>
<p style="text-align: center;">下部構造【判定区分：Ⅲ】</p> <p>写真3</p>  <p style="text-align: right;">舗装01</p>	<p style="text-align: center;">【判定区分：】</p>

点検調書(その6) 損傷写真	径間番号	1	起点側	緯度	-	終点側	緯度	-	橋梁ID	-
				経度	-		経度	-		

ブリガナ 橋梁名	フガミ フガミ橋	路線名	大工又線		管轄	大宜味村	橋梁コード	-	
所在地	自	大宜味村字田港	距離標	自		-	建設環境課	調書更新年月日	2016年12月20日
	至	大宜味村字田港		至		-		最新点検年月日	2016年11月15日

損傷写真	写真番号	57	径間番号	1	撮影年月日	2016/10/6	写真番号		径間番号		撮影年月日	
	部材名	胸壁	要素番号	0102	メモ		部材名		要素番号		メモ	
	損傷の種類	ひびわれ(大大)	損傷程度	e	胸壁 Ap0102 ⑥ひびわれ-e(大大)		損傷の種類		損傷程度			
												
	写真番号		径間番号		撮影年月日		写真番号		径間番号		撮影年月日	
部材名		要素番号		メモ		部材名		要素番号		メモ		
損傷の種類		損傷程度				損傷の種類		損傷程度				

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	26° 38' 46"	
				経度	128° 05' 25"	
アザカ橋 (フリガナ)アザカハシ	平南線	大宜味字津波				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
大宜味村役場建設環境課	2016.10.28	河川	無	一般道	その他	水道管

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)大東エンジニアリング 点検責任者 宮城輝夫

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に 記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	III	うき、ひびわれ	写真1、主桁02		
	横桁	II	ひびわれ	写真2、横桁02		
	床版	III	うき	写真3、床板04		
下部構造	II	漏水・滞水	写真4、胸壁02			
支承部	II	うき	写真5、沓座モルタル02			
その他	III	変形・欠損	写真6、伸縮装置02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁のひび、うき損傷が相当程度進行補修等が必要。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1981年	15m	8.20m	
終点(左岸A2)			起点(右岸A1)

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の。



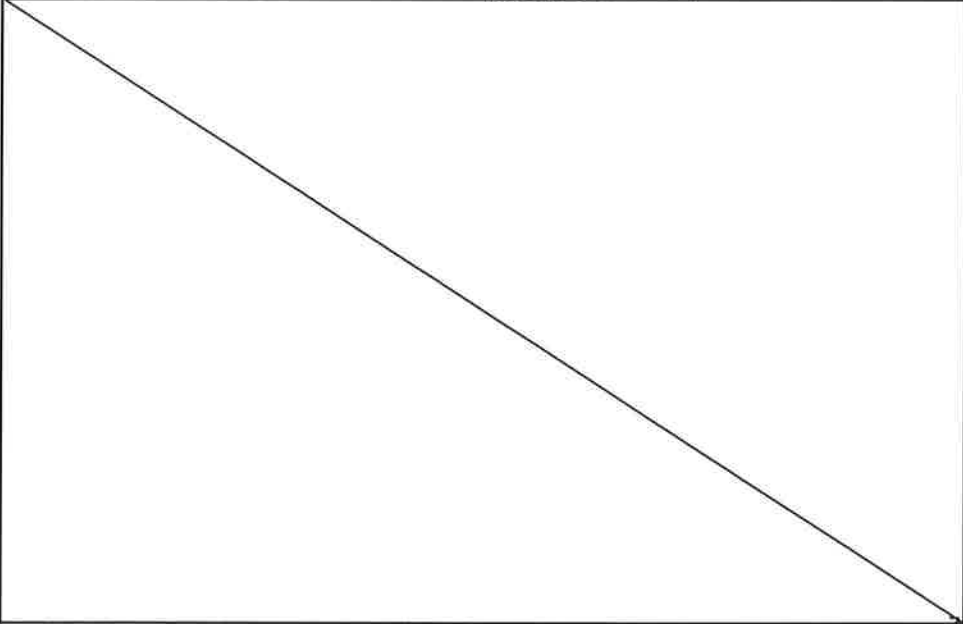
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真1</p>  <p style="text-align: right;">主桁02</p>	<p style="text-align: center;">上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真2</p>  <p style="text-align: right;">横桁02</p>
<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真3</p>  <p style="text-align: right;">床板04</p>	<p style="text-align: center;">下部構造(胸壁)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真4</p>  <p style="text-align: right;">胸壁02</p>

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

支承部【判定区分：Ⅱ】	その他(伸縮装置)【判定区分：Ⅲ】
<p>写真5</p>  <p>脊座モルタル02</p>	<p>写真6</p>  <p>伸縮装置02</p>
<p>【判定区分：】</p>	<p>【判定区分：】</p>
	

別紙3 点検表記録様式  
橋梁名・所在地・管理者名等

様式1(その1)

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	26° 42' 31" 128° 10' 03"
川茶橋 (フリガナ)カワチャバシ	野国納線	大宜味村字田嘉里			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路 占用物件(名称)
大宜味村役場建設環境課	2016.9.29	河川	有	一般道	その他 上水道

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者 (株)大東エンジニアリング

点検責任者 山入端民夫

点検時に記録				措置後に記録		
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日
上部構造	主桁	III	ひびわれ、鉄筋露出、うき	写真1、主桁01		
	横桁					
	床版	III	ひびわれ、鉄筋露出、うき	写真2、床板02		
下部構造	I					
支承部	I					
その他	II	防食機能の劣化	写真3、防護柵02			

道路橋毎の健全性の診断(判定区分 I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	主桁の広範囲に鉄筋露出やうき、ひびわれなど損傷が見られ現在も進行中。速やかな対策が必要。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
昭和56年	18m	5.60m	
終点(左岸A2)		起点(右岸A1)	




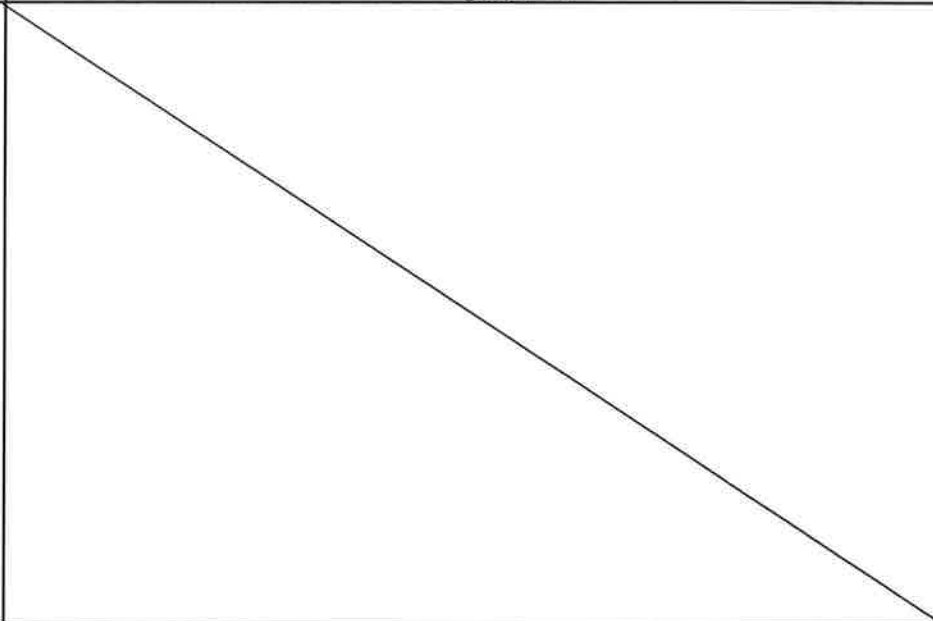
※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。



状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p style="text-align: center;">上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真</p>  <p style="text-align: right;">主桁01</p>	<p style="text-align: center;">上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】</p> <p>写真</p>  <p style="text-align: right;">床板02</p>
<p style="text-align: center;">その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】</p> <p>写真</p>  <p style="text-align: right;">防護柵02</p>	<p style="text-align: center;">【判定区分: 】</p> 

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	26° 42' 27"	
				経度	128° 08' 46"	
浴川橋 (フリガナ)アビカワバシ	浴川線	大宜味村字喜如嘉				
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件(名称)
大宜味村役場建設環境課	2016.10.7	河川	有	一般道	その他	上水道

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)

点検者に記録				点検者	(株)大東エンジニアリング	点検責任者	宮城聡
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁	III	ひびわれ、うき	写真1、主桁01			
	横桁	II	ひびわれ、その他	写真2、横桁02			
	床版	III	ひびわれ、鉄筋露出、うき	写真3、床版04			
下部構造	II	ひびわれ	写真4、胸壁01				
支承部	I						
その他	II	腐食	写真5、防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)

点検時に記録		措置後に記録	
(判定区分)	(所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
III	床版の劣化状態は劣化期であり、詳細調査を行い、補修もしくは全面架替への判断を行う必要がある。		



全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員	
1982年	15m	6.0m	
終点(左岸A2)		起点(右岸A1)	

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)


○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載し、  
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(主桁)【判定区分: Ⅲ】		上部構造(横桁)【判定区分: Ⅱ】	
写真1  主桁01	写真2  横桁02		
上部構造(床版)【判定区分: Ⅲ】		下部構造【判定区分: Ⅱ】	
写真3  床版04	写真4  胸壁01		

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真に記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<p>写真5</p> <p>その他(防護柵)【判定区分: Ⅱ】</p>	<p>【判定区分: 】</p>
 <p>防護柵01</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>
<p>【判定区分: 】</p>	<p>【判定区分: 】</p>

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度 経度	26° 41' 03" 128° 06' 18"
安根橋 (フリガナ)アンネバシ	安根線	大宜味村字根路銘			
管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路 占用物件(名称)
大宜味村役場建設環境課	2016.9.21	河川	有	一般道	その他 上水道

部材単位の診断(各部材毎に最悪値を記入)				点検者	(株)大東エンジニアリング	点検責任者	山入端民夫
点検時に記録				措置後に記録			
部材名	判定区分 (I~IV)	変状の種類 (II以上の場合に記載)	備考(写真番号、 位置等が分かる ように記載)	措置後の 判定区分	変状の種類	措置及び判定 実施年月日	
上部構造	主桁						
	横桁						
	床版	II	ひびわれ、欠損、遊離石灰	写真1、床版02			
下部構造	II	洗掘	写真2、基礎02				
支承部							
その他	II	ゆるみ・脱落	写真3、防護柵01				

道路橋毎の健全性の診断(判定区分I~IV)		措置後に記録	
判定区分	点検時に記録 (所見等)	(再判定区分)	(再判定実施年月日)
II	床版、下部構造(A2基礎洗堀)、その他(防護柵)は予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。		

全景写真(起点側、終点側を記載すること)

架設年次	橋長	幅員
不明	10m	4.60m

起点(右岸A1)





終点(左岸A2)

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真(損傷状況)

○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の

○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

上部構造(床版)【判定区分: Ⅱ】	下部構造(基礎)【判定区分: Ⅱ】
<p>写真1</p>  <p>床版02</p>	<p>写真2</p>  <p>基礎02</p>
<p>写真3</p>  <p>防護柵01</p>	<p>【判定区分: 】</p>